大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

（令和8年8月分【埋立中共通調査②】）

【底質（一般項目）】

国土交通省　近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目　　次

Ⅰ　事後調査の概要

１．調査概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅰ－１

２．工事の実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅰ－３

３．調査結果の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅰ－４

Ⅱ　事後調査結果

１．底質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅱ－１

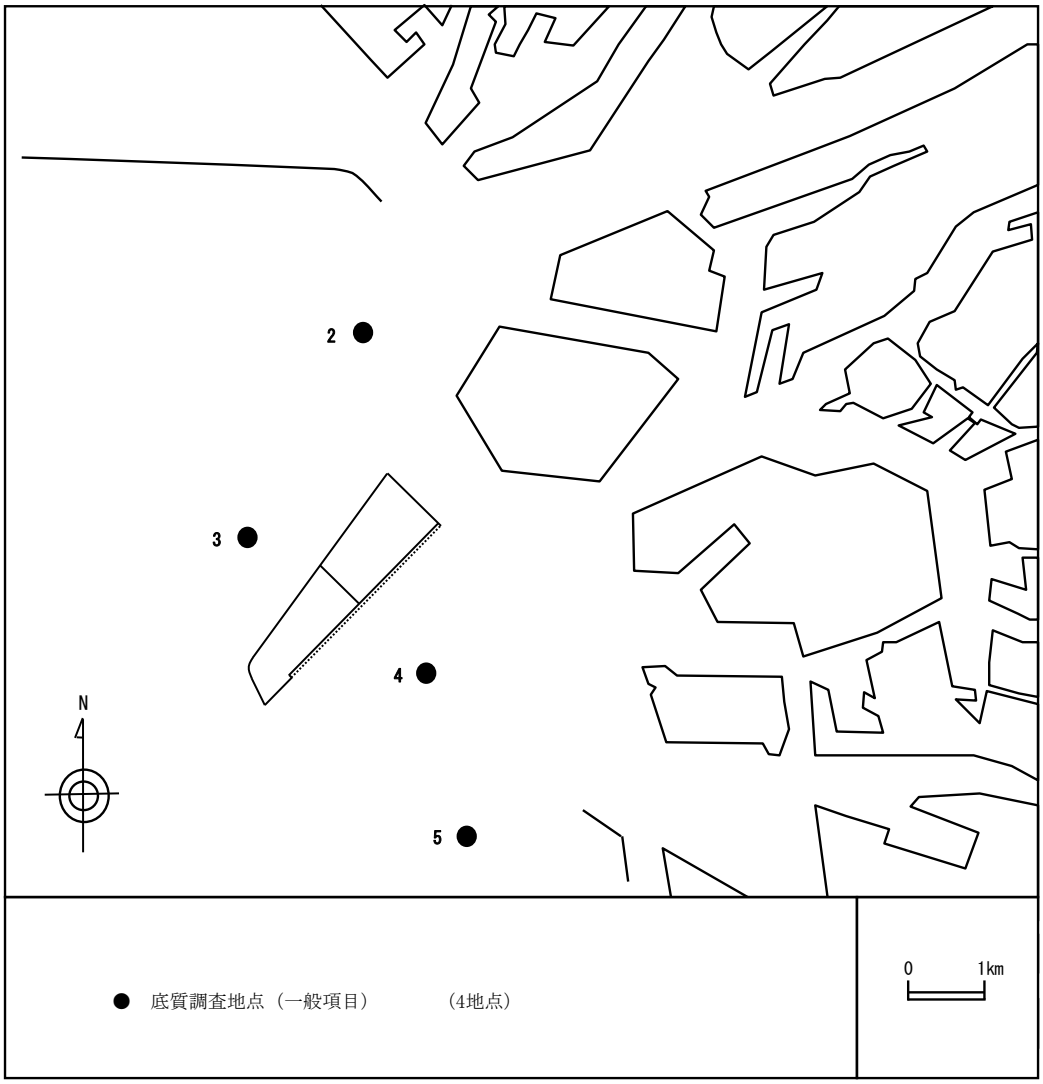
Ⅰ　事後調査の概要

１．調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和８年８月（底質）の事後調査の概要は表－１に、調査地点の位置は図－１に示すとおりである。

表－１(1)　事後調査の概要（埋立地周辺における調査　底質（一般項目））

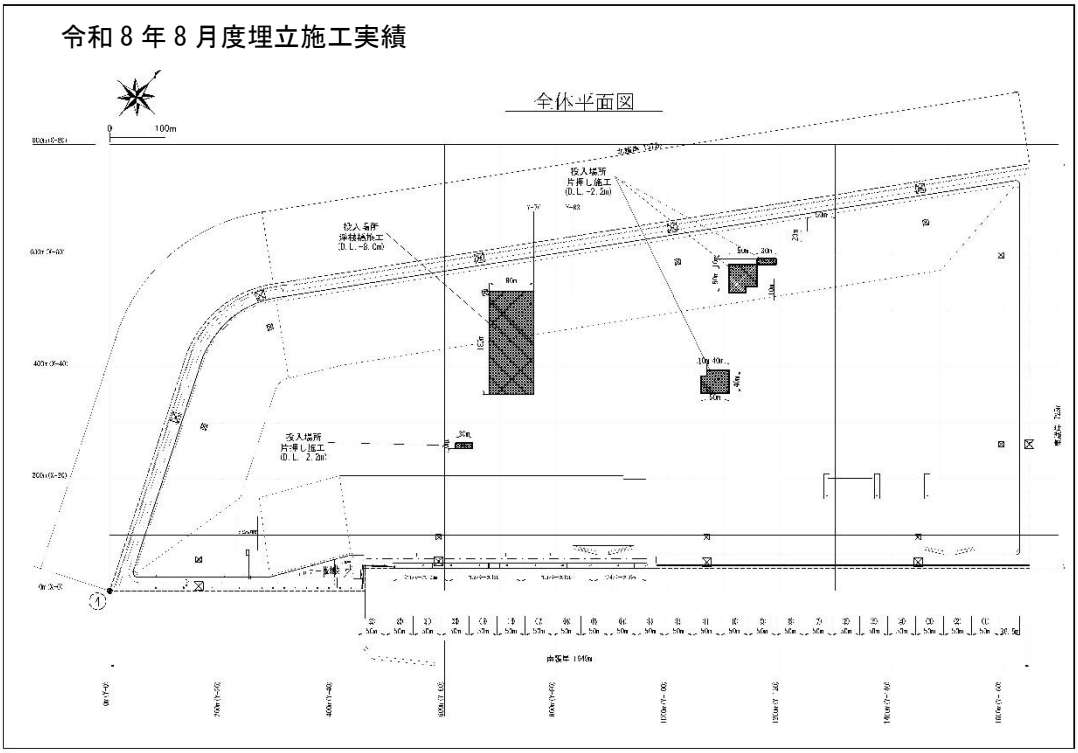
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	4点（表層土） 【2，3，4，5】	8月4日	2回／年 （8月、2月）



図－1(1) 底質(一般項目)の調査地点

２．工事の実施状況

令和８年８月の工事の実施状況は、図－２に示すとおりである。



埋立量(㎥)	進捗率(%)
9,325,330.3	66.7

埋立容量(計画量) ： 13,975,000 ㎥

図－２　工事の実施状況　（大阪沖処分場平面図）

３．調査結果の概要

埋立地周辺における調査

（１）底質［底質様式第１号］

強熱減量は 9.9～11%、化学的酸素要求量(COD)は 23～27mg/g 乾泥、硫化物は 0.3～0.6mg/g 乾泥、全窒素(T-N)は 2.1～2.3mg/g 乾泥、全燐(T-P)は 0.67～0.72mg/g 乾泥の範囲であった。

Ⅱ　事後調査結果

底質様式第１号

底質調査結果（一般項目）[令和８年８月分]

調査日：令和8年8月4日

項目＼調査点		2	3	4	5	最小値 ～ 最大値	平均値
採泥時刻		11:15	10:50	10:10	9:51	—	—
粒度組成［%］	粗礫（19mm以上）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0 ～ 0.0	0.0
	中礫（4.75～19mm）	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0 ～ 0.1	0.0
	細礫（2.00～4.75mm）	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0 ～ 0.2	0.1
	粗砂（0.850～2.00mm）	0.5	0.4	0.2	0.5	0.2 ～ 0.5	0.4
	中砂（0.250～0.850mm）	0.7	1.3	0.4	0.6	0.4 ～ 1.3	0.8
	細砂（0.075～0.250mm）	1.2	1.6	0.7	0.5	0.5 ～ 1.6	1.0
	シルト（0.005～0.075mm）	77.3	74.8	77.2	76.4	74.8 ～ 77.3	76.4
	粘土（0.005mm以下）	20.3	21.6	21.3	22.0	20.3 ～ 22.0	21.3
含水率［%］		65	69	68	68	65 ～ 69	67
強熱減量［%］		9.9	11	11	11	9.9 ～ 11	11
化学的酸素要求量（COD）［mg/g乾泥］		25	27	26	23	23 ～ 27	25
硫化物［mg/g乾泥］		0.3	0.3	0.6	0.4	0.3 ～ 0.6	0.4
全窒素（T-N）［mg/g乾泥］		2.1	2.3	2.2	2.2	2.1 ～ 2.3	2.2
全燐（T-P）［mg/g乾泥］		0.67	0.72	0.70	0.68	0.67 ～ 0.72	0.69
酸化還元電位［mV］		-320	-330	-330	-330	-330 ～ -320	-328

特記事項